

第2次総合計画の進捗状況と今後の方向性

基本方針	主な取組実績	市民アンケートにおける満足度（平均）		現在、課題となっていること	第3次総合計画に向けた今後の方向性	
		不満1⇔5満足（5段階評価）	H30			R6
基本方針1 豊かな自然に抱かれる伊豆の国市	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境整備事業の創設と森林整備 住宅用新エネルギー機器導入補助制度の創設 クリーンエネルギー自動車（公用車）の導入 クリーンセンターいずの整備 屋外広告物条例に基づく良好な景観の形成 おもてなし花壇の整備 川の駅 伊豆城山の整備 	自然環境の保全と景観向上	2.85	2.98	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化 脱炭素社会に向けたさらなる取組の推進 ごみ処理手数料の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 森林経営管理制度による効率的・計画的な森林整備を行っていく 地球温暖化対策の取組・啓発を一層強化していく 公共施設の建築、大規模改修等にあたっては、太陽光発電設備を積極的に設置していく 防災機能やにぎわいの場づくりなど、各公園の特性に応じた活用を行っていく クリーンセンターいずにおける処理経費等を分析し、適正なごみ処理手数料を検討していく
		快適な生活環境の創造	3.17	3.05		
基本方針2 伊豆の国市にしごとをつくる	<ul style="list-style-type: none"> 旧スポーツワールド跡地の整備及び企業誘致 企業立地事業費補助制度及び企業立地設備投資奨励制度の創設 創業支援事業計画の策定 創業等支援事業費補助制度や創業者等サポート利子補給事業費補助制度の創設 耕作放棄地リノベーション事業補助制度の創設等による荒廃農地の解消 有機農業実証圃場による技術指導及び普及啓発 	地域を支える人材の就労支援	2.60	2.73	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致に適した用地の確保 創業者同士のマッチング機会の少なさ 地域の実情に応じた多様な担い手の確保（企業的農業経営体や家族経営等） 農地の集約化 有機農業の産地づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地が可能な用地を確保するとともに、一定の広さの土地を必要としない企業の誘致にも取り組んでいく 創業者同士の連携や販路開拓等のためのマッチング支援を推進していく 「地域計画」に基づく農地の集積・集約及び基盤整備を実施していく 有機農業に関する実践活動を推進するとともに、学校給食に有機米・野菜を積極的に使用していく
		地域特産品の競争力の強化	2.81	3.00		
		地域産業の活性化と新たな雇用の創出	2.49	2.59		
基本方針3 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる	<ul style="list-style-type: none"> WEB広告を活用した移住プロモーションの実施 静岡DCを通じた観光客の誘致 官民連携によるエロイカジャパン等の開催 大河ドラマを活用した歴史・文化資産の魅力発信 温泉街のにぎわい創出に向けた活動団体との連携や支援 米国マリーナ市と友好都市の覚書を締結 	移住・定住の促進	2.87	2.73	<ul style="list-style-type: none"> 温泉を活かした観光振興 医療の強みを活かした観光振興（メディカルツーリズムの推進） 食を活かした観光振興（ガストロノミーツーリズムの推進） ホストファミリーなどの受入体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もSNSを活用し、適時、的確な、ターゲットの心に刺さる情報発信を行っていく 温泉、歴史・文化、自然環境・景観、医療、食、等の地域資源を磨き上げ、最大限に活用した観光を推進していく 市民・学校・団体レベルでの、友好都市・姉妹都市との相互交流の活性化を図っていく
		観光推進体制の強化と交流人口の拡大	2.75	2.84		
		情報発信力の強化とおもてなしの充実	2.82	2.74		
基本方針4 歴史に学び未来を拓く伊豆の国市	<ul style="list-style-type: none"> 電子図書館の導入及び郷土資料のデジタル化 小学校に地域学校協働本部を設置し、地域と学校の連携を促進 GIGAスクール構想による1人1台端末の整備 5歳児から英語に親しむ機会の創出 	歴史・文化・芸術を生かしたひとづくり・まちづくりの推進	3.03	3.00	<ul style="list-style-type: none"> 地域と学校の連携の促進 部活動の地域移行 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域とともにある学校づくり」を目指し、学校と地域が相互に連携・協働して様々な活動の行うための、人材の確保と育成を進めていく 幼児期からの切れ目のない英語教育をより一層推進していく 中学校において、指導員・合同部活動による地域連携や土日の地域移行を進めていく
		次代を拓く教育と研究の推進	2.94	2.74		
基本方針5 子育ても人生も楽しい伊豆の国市	<ul style="list-style-type: none"> 産後ケアの利用者拡大及び取組の充実 子育てモバイルのアプリ化及びアプリを活用した情報発信 市立幼稚園での預かり保育の実施 私立の認定こども園化の支援及び公立の認定こども園の整備 公立園での保育ICTシステム「コドモン」の導入 多職種による在宅医療や介護連携の推進 時代の変化に応じた包括的な相談支援体制の見直し 	婚活支援	2.75	2.56	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての負担や不安に対する支援 子どもの居場所の確保 幼保教諭の人材不足 保育園・幼稚園の統合 高齢期の生活の質（QOL）の維持 多様な支援ニーズへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を継続していく 利用率の低い施設や遊休施設を活用し、子どもの居場所づくりを進めていく 健康寿命日本一を目指し、生涯を通じた健康づくりを促進していく 地域や関係機関と連携した重層的支援体制により、地域住民の複雑化・複合化した課題を包括的に支援していく
		妊娠・出産への支援	2.88	2.74		
		新人パパママの不安解消	2.94	2.89		
		子育て環境の充実	2.94	2.76		
		健康長寿を目指すまちづくりの推進	3.00	2.98		
基本方針6 安全で安心な伊豆の国市のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 「わたしの避難計画」の作成 消防団員の待遇改善や消防団運営交付金の見直し、消防車両の更新 狩野川流域治水プロジェクトによる治水対策 LINEによる緊急情報の発信 街頭防犯カメラ設置補助制度の創設 きよら江間及び柳の杜の整備 予約型乗合タクシーの導入 地域との交通手段の検討会の実施 	防災・減災のまちづくりと安全・安心なまちづくりの推進	2.83	2.94	<ul style="list-style-type: none"> 災害DXの活用や災害時の民間活力の導入 道路橋梁や水道・下水道施設、学校施設の老朽化対策の継続 水道料金や下水道使用料の見直し 自主運行バスの経費増加 市街化調整区域の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 雨水排水対策や土砂災害対策を講じつつ、災害DXや民間活力の導入により、防災力・消防力を一層強化していく 引き続き、道路橋梁や水道・下水道施設、学校施設の更新や耐震化、長寿命化等を進めていく 経営健全化に向け、水道料金や下水道使用料の見直しを行っていく 地域に適した新たな交通手段を導入していく 地域の特色を活かした土地利用を推進していく
		時代に即したインフラ資産の更新・新設	2.67	2.89		
		公共施設等の適正管理・統廃合	2.70	2.86		
		集約型都市の形成	2.74	2.67		
		地域に根差した公共交通網の構築	2.61	2.63		
		効率的な行財政運営の推進	2.82	2.81		
基本方針7 みんなで創る伊豆の国市	<ul style="list-style-type: none"> よい仕事おこしフェア実行委員会との包括連携協定の締結及び「政子の情熱」の開発 まちづくり団体プラットフォームの立ち上げ 市公式LINEの開設及び機能拡張 ガバメントクラウドファンディングの実施 	地域生活やコミュニティの維持	2.95	2.88	<ul style="list-style-type: none"> オンライン申請の拡充 ニーズにマッチしたふるさと納税返礼品の確保 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動に取り組む団体の支援を継続し、官民連携によるまちづくりを推進していく 行政手続きを含め、各種オンライン手続き（申込や予約等）を拡充していく 事業者と連携し、魅力あるふるさと納税返礼品の開発を進めていく
		NPO法人等市民活動団体の育成・支援	2.96	2.82		
		お互いを尊重する社会づくり	3.00	2.87		
		効率的な行財政運営の推進	2.82	2.81		